

2023年8月10日(木)

街道観光「実践オンラインセミナー2023」—第2回

仲間をつくろう —志の募り方と結び方—

帝京大学 経済学部観光経営学科 教授 大下 茂
(地域活性化伝道師(内閣府))

はじめにープロフィールと2023セミナーの趣旨

実践オンラインセミナー2023の趣旨

2023年度の実践セミナーでは、取組を持続可能な姿とするための「**多様な主体の参画**」をテーマに、地域が気持ちを合わせていく手法について、3回のセミナーを通じて考え方をお伝えするとともに、地域の力を合わせて実際の消費につなげる取組を実践的に学べるよう努めたいと思います。

第1回	8月2日(水)	人口増が期待できない時の地域づくり ～地域の成り立ちに樹った文化のネタを見出す～
第2回	8月10日(木)	仲間をつくろう ～志の募り方とむすび方～
第3回	8月22日(火)	行動計画をもとう・つくろう ～シナリオの描き方と動かし方～
第4回	8月24日(木)	明日からできる! 地域の多様な主体が連携し、事業成功に導く「とっておき」の法則

はじめに一前回(第1回講座)の振り返り

- ☑我が国は、過去3度の人口停滞期を経験しており、今回は4度目の停滞期である。
- ☑人口増加期は「都市(地域)をつくる時代」、人口停滞期は「都市(地域)をつかう時代」。人口停滞期は、「日本の文化」が開化する時代であった。
- ☑江戸中後期には、特産品開発、人づくり、観光、ガーデニング、地域情報誌の発刊等に取り組んできた。
- ☑地域の成り立ち・記憶、作法、文化の原点を訪ねてみよう
 - ⇒地域ならではの個性の原点が見い出す切っ掛けとなるのでは??
 - ⇒地域の履歴書として地域の記憶を可視化しよう!!

集客型地域づくりのはじまり

昭和50年代の新しい潮流

□「過密－過疎問題(大都市一極集中の緩和)」「中央主導の地域づくり政策の限界」

⇒定住圏構想(全国300のモデル定住圏→「廃県置藩」)

□地域主導型地域づくりの台頭

⇒『地方の時代(昭和53年)』……長洲神奈川県知事

⇒『一村一品運動(昭和54年)』……平松大分県知事

⇒『生涯学習都市宣言(昭和54年)』……榛村掛川市長

□『国民生活に関する世論調査』による生活の力点の推移

⇒昭和50年代は[衣食足りて旅の楽しさを知る]時代の到来

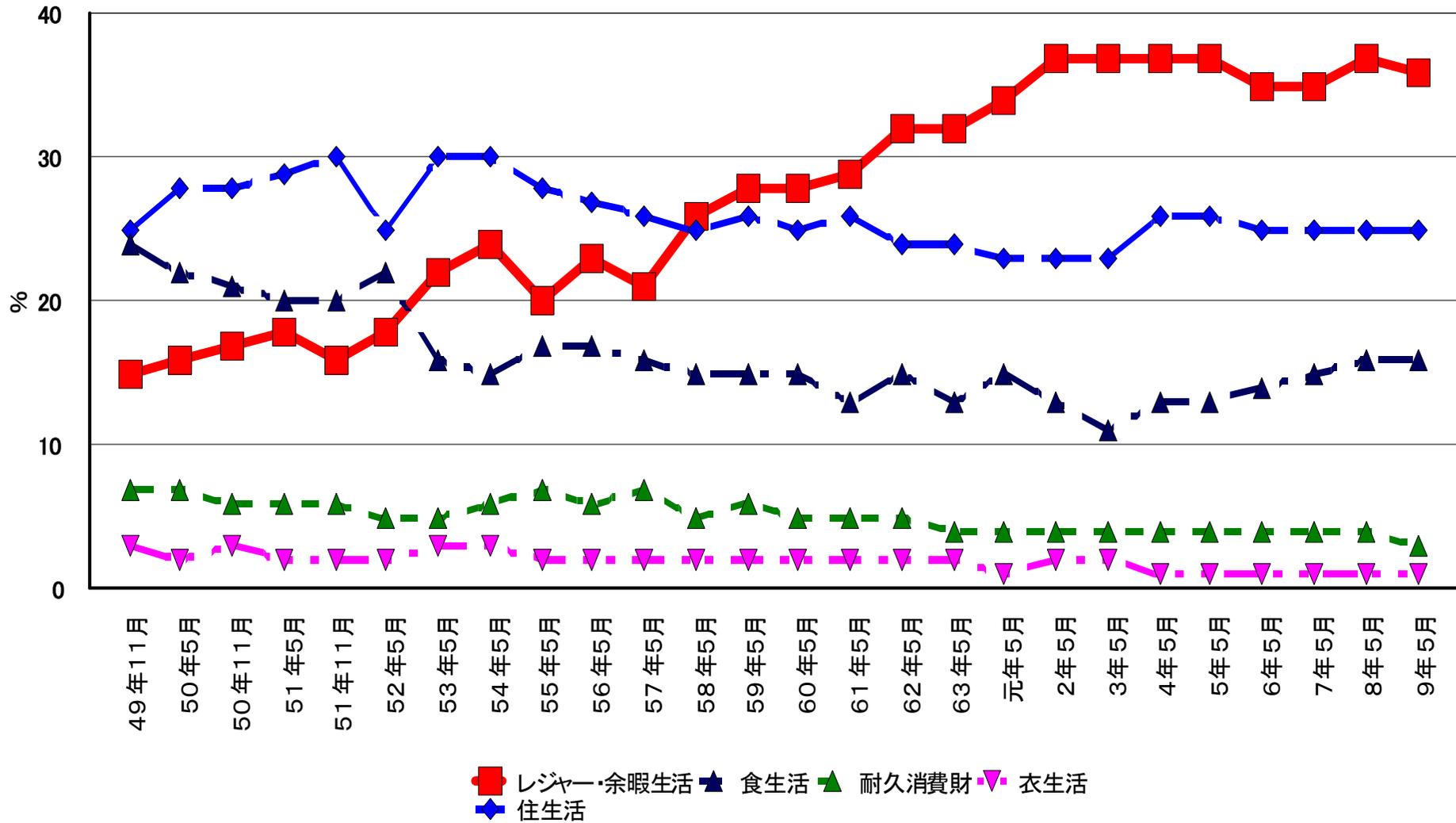
□国内観光需要が増加する「旅行ブーム」＝観光旅行の大衆化・大量化

⇒「ディスカバージャパン(1970(昭和45)年10月開始)」

⇒「いい日旅立ち(1978(昭和53)年11月開始)」

集客型地域づくりのはじまり

これからの生活の力点の推移



集客型地域づくりのはじまり

集客型地域づくりの誕生

地域の個性や魅力を見出し磨きをかけ、多くの人々の気を惹き人々を集める集客商品を新たに創り出すことによって、地域が永続的に存在するための「**ことやモノでの集客**」＝来訪者が訪れることによって地域に何らかの変革をもたらすことを期待する地域づくりであり、『地域住民が誇りを感じて暮らす地域を、他地域の人々にも訪れてもらうことによって**ある種の[自慢したい][見せびらかしたい]**という満足感や喜びを持ちつつ地域に何らかの良い刺激がおこり、一方では**人を集めることによって経済的な潤いを地域にもたらそうとするもの**』

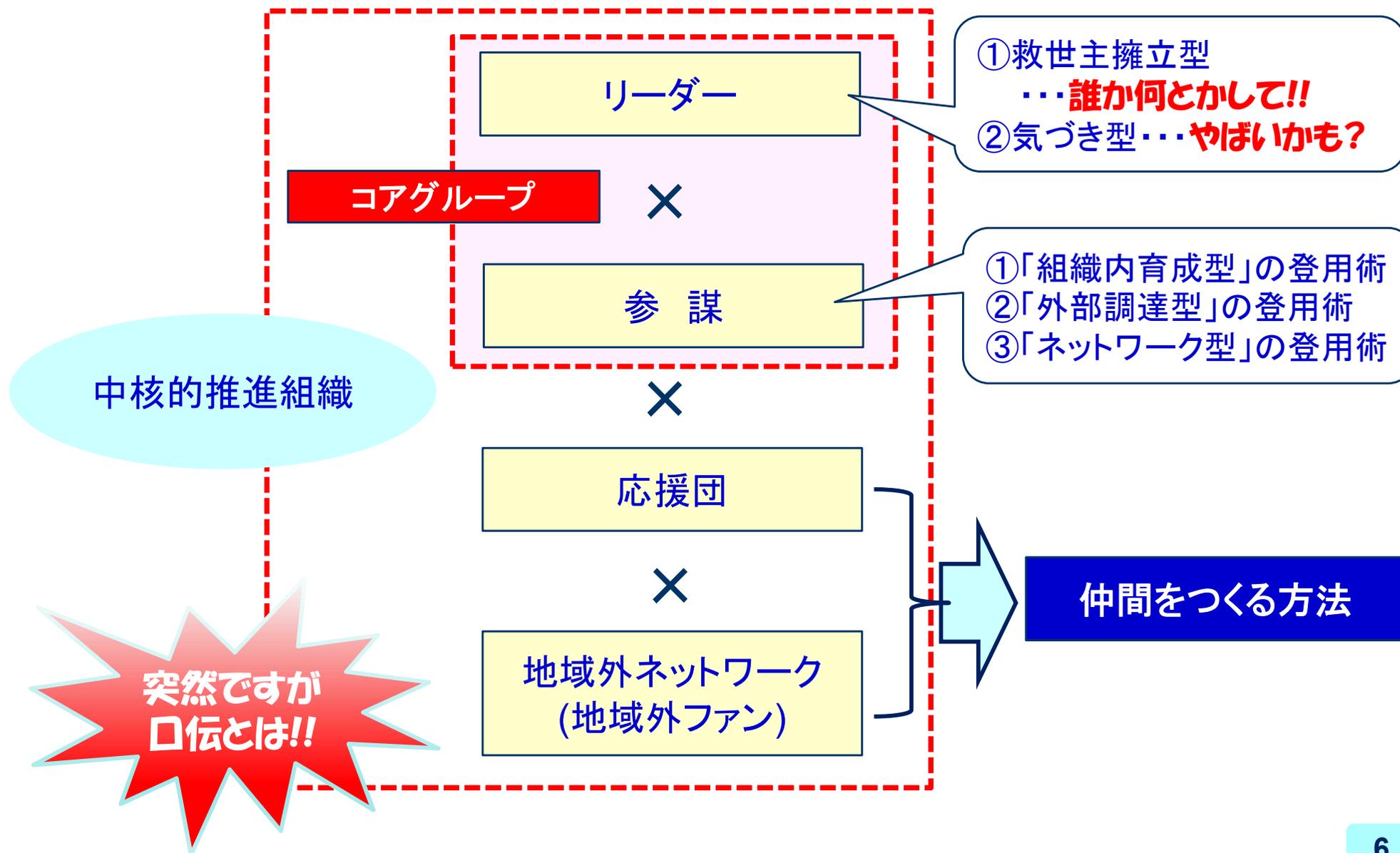


【集客型地域づくりの5つのステップ】

〔①気づき〕⇒〔②企てる〕⇒③〔構える〕⇒④〔動かし〕⇒〔⑤広げる〕

集客型地域づくりのはじまり

集客型地域づくりをススめるために…まずは仲間づくりから



仲間をつくる方法

【手法(1)】危機意識をもつ

・・・強制的な意識づくり=外科的施術法

目的	取り組み手法
地域の原点を知る	<ul style="list-style-type: none">◆地域の成り立ちをたどる・・・宿場町?、門前町?、港町?・・・◆地域の盛衰を振り返る・・・光輝いていた時期は??◆失いたくないもの、少なくなってきたものを探す◆地域イメージの分析から地域の姿を学ぶ◆あらためて「ふるさと」を学ぶ・・・「○○学のススメ」
数値データを経年で比較する	<ul style="list-style-type: none">◆観光入込統計・売上げ等より動向を示す◆少なくなってきたものを数値として示す <p>・・・ちょっとづつ変化していると気づかないことも多い!!</p>
強みと弱みを評価する	<ul style="list-style-type: none">◆SWOT分析を活用して地域を評価する◆ランキング等を用いて比較する◆手づくり地図をつくって地域を改めて地域を見直してみる <p>・・・意外とすぐに行える効果的な方法!!(近場観光のネタに)</p>
内の目・外の目で評価する	<ul style="list-style-type: none">◆地域外の実践の研究・先達に学ぶ◆ITデータ等の地域の評価を収集・分析する◆モニター調査やグループインタビューを実施する◆表彰された地域との違いを直視する・・・どこが違うのか??

仲間をつくる方法

【手法(2)】夢をみつける・志を広げる

……創造的な意識づくり=漢方薬的施術法

目的	取り組み手法
その気になれる夢を描く	<ul style="list-style-type: none">◆みんなの夢を持ち寄る ……ポストイットを使用してボード等に書き出してみる!!◆他の地域を見て廻り、“わが地域”の夢を描く◆外部の方々に褒めてもらうことで誇りをもって夢を描く ……褒めてもらうことも大切!!
志につながる夢を描く	<ul style="list-style-type: none">◆“大風呂敷”を広げてみる……後藤新平に学ぶ!!◆複数の夢を伝える……夢シリーズ三段跳び(掛川市・榛村元市長)
志を伝えて有志をつのる	<ul style="list-style-type: none">◆「地域学」を通して多様な主体に「志」をアピールする◆“楽しいこと”と“わかりやすいこと”をセットでアピールする ……地域のイベントに便乗してやってみる!!◆大義をアピールする
有志から仲間の輪を広げる	<ul style="list-style-type: none">◆地域の方々が参加できる講演会やワークショップを開催する◆これまで活動に無縁だった方々に声をかける◆地域ネットワークの鍵を握る方々に協力を要請する ……PTAネットワーク、子どもイベントに近づく!!

ファシリテーションの技をみかく

ファシリテーターとは…

ファシリテーター (facilitator) とは、ワークショップにおける「水先案内人」。まちづくりの会合での進行にあたって、参加者の意見を上手に引き出したり、議論を円滑に進めたりする補助者、調整役。いわゆる、ボトムアップ的調整者である。

ファシリテーターとして手法・技

- ◎ファシリテーターの基本は、明るく、でしゃばらず、参加者が、充分楽しめる雰囲気・空間(会議の場)をつくること
- ◎聞き方には、「受動的聞き方」と「能動的聞き方(カウンセラーとしての聞き方)」がある。
- ◎ファシリテーターは参加者の応答を判断して、「肯定」「予防」「宣言」といったメッセージを伝えながら、会議の良好な環境が維持できるように努めるよう工夫する必要が求められます。

ファシリテーションの技をみかく

【技①】聞き方のポイント—6つの聞き方

受動的聞き方	能動的聞き方
①参加者の言うことを黙って聞く ～うなづきながら聞くということ	④繰り返す ～繰り返して聞くということ
②あいづちをうつ ～「そう」「まったくそのとおりです」「なるほど」	⑤言い換える ～「こういうことですね」
③もっと話すように促す～「それで」など、もっと参加者の発言を促すようにしながら聞く	⑥気持ちをくむ ～「こういうこともあるのでは」

状況に応じて、話すか聞くかを臨機応変に対応することが必要…



ファシリテーションの技をみかく

【技②】肯定の(わたし)メッセージ

感情あふれる「肯定のわたしメッセージ」を会議の参加者に伝えることで、会議は良好な環境を維持し、発言を引き出すことにつながります。

- わたしは、感謝の気持ちでいっぱいです
- わたしは、とてもすばらしい気分です
- わたしは、とても勇気付けられました
- わたしは、とても誇りに思っています など

>>>>ほかに、感情を表すキーワードに次のようなものがあります<<<<
共感する。心地よい。和む。くつろぐ。明るい。暖かい。ほほえましい。ほのぼのする。居心地が良い。やる気が出る。自信が出る。愛くるしい。生き生きした。気に入る。嬉しい。うきうきする。楽しい。穏やかな。面白い。すっきりする。おおらかだ。可愛い。いとおいしい。満足する。心弾む。爽やかな。素敵。頼もしい。なつかしい。はつらつ。ほっとする。満たされた。わくわくする。

ファシリテーションの技をみかく

【技③】期待する効果を意識した手法の選択

会議等で期待する効果	取組手法(例)
仲間意識を共有する手法	<input type="checkbox"/> 各種アイスブレイキング (自己紹介、他己紹介、整列ゲームなど) <input type="checkbox"/> 食事会、茶話会・・・呑み会
意見を引き出すための手法	<input type="checkbox"/> ポストイットトーク <input type="checkbox"/> アンケート <input type="checkbox"/> インタビュー
外的要因を共有する手法	<input type="checkbox"/> KJ法 <input type="checkbox"/> ブレインストーミング <input type="checkbox"/> モニターツアー <input type="checkbox"/> グループインタビュー <input type="checkbox"/> 講師・専門家による講演・パネルディスカッション <input type="checkbox"/> まちづくり先進地の見学会（まちウォッチング）
意見の合意形成の手法	<input type="checkbox"/> 予算配分ゲーム <input type="checkbox"/> 月に迷ったゲーム

ファシリテーションの技をみかく

【技④】会議のカリキュラムづくりの方法

◎会議の目的のもとに、アクティビティ(手法)が組み合わされたものがプログラム。プログラムを系統立てて1つの形にしたものがカリキュラムです。

◎起承転結を踏まえたカリキュラムづくりが必要

【起】～気づきのカリキュラム

※「なぜ・どうして今やっていることが必要なのか」、また「今やろうとしていることの根本の問題点は何なのか」等に気づいてもらうためのカリキュラムです。

【承】～目的達成(問題解決)のための方法立案カリキュラム

※なかなか意見の統一がとれないかもしれません。ここであえて反対の意見が出てもその場での否定しないようにしましょう。

【転】～目的達成(問題解決)のためのリフレッシュのカリキュラム

※遊びを取り入れ(祭りの様なイベント・食事会等)、参加者がリフレッシュでき、目的を再確認できるような、新たな発想が出来るような楽しいものを企画してみましょう。

【結】～意見統一のための合意形成のカリキュラム

※承のカリキュラムでとれなかった意見統一を、それぞれの意見を尊重して意見統一を行っていくことが大切です。将来予測を実際に試してみるのもいいでしょう。

ファシリテーションの技をみかく

各会議の中にも導入部分・展開部分・整理発展部分・次への導入部分といった様にプログラムを構築し進めていくことも大切です。

ワークショップ型の会議の原則は、“**参加者が楽しみながら行うということ**”です。参加者が心から楽しめて、そして自分たちの行ったものが形となって残れば、充実感を得られることにつながります。

ワークショップカリキュラム(プログラム)の例



第1回

関係者に対象事業にかかる問題点や各々立場などの共通理解の促進

1. アイスブレイキング
2. ワークショップの目標及び対象物の説明
3. 対象物の理解を促進するゲームor対象物の見学
4. 意見出し
5. 発表
6. まとめ

第2回

関係者の本音を抽出や、仲間意識の高揚

1. アイスブレイキング
2. 前回ワークショップの説明
3. ウィッシュボエム・・・参加者自身に自分の考えをまとめてもらう
4. ブレーンストーミングやKJ法
5. 4で出てきたキーワードを使い、物語を作ってみよう
6. 発表
7. まとめ

第3回

コンセプトの決定

1. アイスブレイキング
2. 前回までのワークショップの説明
3. ノミナルグループプロセス
4. 投票
5. まとめ

第4回

計画案の策定

1. アイスブレイキング
2. 前回までのワークショップの説明
3. デザインゲーム、予算配分ゲーム、シミュレーションゲーム
4. 発表
5. 投票
6. まとめ



おひこつて 技・術・紹・介

アイスブレイキング

アイスブレイク (ICE BRAKE) とは、直訳すると氷を溶かす、或いは氷を割るという意味があります。

ワークショップをスムーズかつ参加者の意見を積極的に引き出せる雰囲気をもっていく、緊張を緩和するために導入部に用いる手法のことをアイスブレイキング (またはアイスブレイク) と言います。アイスブレイキングの手法については、今後このコーナーで詳しく紹介していきますので楽しみに!



第2回講座のまとめ

>>>>>組織の活力を維持しつづけるための極意<<<<<<

『**お互いを認め合うこと**』×『**感謝すること**』

○仲間で取り組む集客まちづくりの極意

⇒【現場主義】×【当事者主義】⇒【結いの心】の醸成

⇒【お互いを認め合うこと】×【感謝すること】

市民協働によって市民活動を元気にするための8つのルール

【**自立**】～他力本願からの意識改革(できる人ができる時にできる事から)

【**対等**】～自らが主体であることの意識の向上、対等な関係のパートナーシップの構築

【**相互理解**】～互いに尊重しあう・慮ること、理解・認め合うこと、感謝すること

【**役割合意**】～能動的な発意・合意のプロセスを経た上での行動・活動の展開

【**目標共有**】～活動のベクトルを合わせること、仲間意識の醸成

【**公開**】～情報公開と仲間づくりの展開

【**説明責任**】～透明な活動、活動の背景となっている「志・意・思考」の積極的な表明

【**補完**】～主体相互の長所・短所を理解して補い合うこと・縦糸と横糸を紡ぐこと

志は高く、意は強く・熱く

しかし、思考は冷静に・・・

(故・渡邊貴介:東京工業大学教授の教え)

.....

童謡『おすんで開いて』

から学ぶ、集客型のまちづくりの段階的展開

ご静聴、ありがとうございました。

次回は、**8月22日(火)の15:30~**です。

テーマは『**行動計画をもとろ・つころろーシナリオの
描き方と動かし方**』です。

shig-osm@blue.ocn.ne.jp

shig-osm@main.teikyo-u.ac.jp